

# 親子で食育活動大作戦！

田園資源 + 子育て + 教育

・料亭 三笠屋

## <取り組みの概要>

- ◆ 親子連れに向け、日本の食文化ミニ体験を9～12月に計4回実施。
  - ① 旬の農産物や鮮魚を揃え、「より新鮮でよりよい品」を見極める方法を伝授することで、家庭内でも普段から新鮮な地場産食材を購入する意識を持ってもらう。
  - ② 骨付きの魚料理を「キレイに食べる」順序を知ってもらい、魚の魅力を伝え、積極的に旬の新鮮な魚を家庭内のメニューに取り入れてもらうきっかけに繋げる。
  - ③ 地産地消のお弁当を提供し、新潟市西蒲区の食の魅力を発信。

## <取り組みの効果>

- ◆ 食育を通じて、子どもだけでなく、その親世代にも、ふるさとの魅力や味を伝え、巻の「いちじく」や「柿」など地元産食材や食文化に対して、理解を深めることが出来た。
- ◆ 若い世代が足を運びづらい老舗料亭に、足を運ぶきっかけづくりが出来た。

## < 料亭 三笠屋 >

- ◆ 概要：大正5年に創業。新潟市西蒲区巻駅から徒歩3分の立地で、地元に着した老舗として、100年以上、建屋、庭園を守り、地元食材を使用した料理と空間を提供しています。

- ◆ ホームページ：<https://r643500.gorp.jp/>



## <取り組みに至った経緯>

- ◆ コロナによりおうち時間が増え、ふるさとの魅力や味を感じる機会が少なくなってきたと感じていた。子供やその親世代にその魅力や味を知ってもらう機会を作り、食文化を体験してもらうため企画した。

## <取り組む際に生じた課題と対応方法>

- ◆ 参加者を募集するための、広告費が課題となったが、旅行代理店と連携し、「じゃらん」を活用することで、参加者の募集を行った。
- ◆ コロナ対応として、密を防ぐため、100人入る座敷を半分の定員にして、セミナー方式で開催した。

食文化ミニ体験風景



## <今後の展望>

- ◆ 今年度の活動を踏まえ、バスツアーと連携するなど来年度以降も定期体験メニューとして活動していきたい。
- ◆ 食育を通じて循環型の「農業と観光の連携」(SDGs)に取り組む新潟市が、県外からの修学旅行の目的地になるような取り組みに繋げていきたい。
- ◆ コロナ後に訪れると見込まれる海外来訪者に向け、日本食がおいしく体験できるプログラムをたくさん作り、観光需要に寄与したい。

## <活用した支援施策>

- ◆ 新潟市食文化創造都市推進プロジェクト支援事業の採択事業としての補助金を活用

かきの食べ方実演



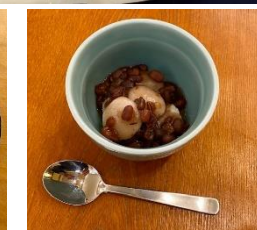
さんまのキレイな食べ方実演



柿の和風デザート三題



里芋コロッケ



揚げ里芋の善哉